

上早川地区公民館だより

第230号上早川地区公民館
令和4年4月10日
Eメール
kamiko@bz04.plala.or.jp
☎559-2002

新年度のご挨拶

平素は公民館活動に特段のご理解ご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

コロナ禍により私たちの日常生活が制限されて丸二年が経過しましたが、収束が見えない状況となっております。

生活の中では、人と人とのつながり、ふれあいが薄れてきていると感じており、本年度は、新しい生活様式を取り入れ、状況に合わせて安心して参加していただける事業を計画し、出会い・ふれあいの当たり前前の活動を取り戻したいと思っています。

笑顔あふれる公民館活動を目指して頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

職員一同



公民館職員(副主事)交代のお知らせ

❖〈退任ご挨拶〉 前副主事 平内 芳美

残雪の上を通り抜ける風も春の装いを感じ、わくわくする今日この頃となりました。

この度、3月をもちまして上早川地区公民館を退職させていただきました。思い起こしますと、昭和59年8月の就任にあたっては、どうだと声をかけていただいた事もあり、迷いに迷った決断でした。いろんなご縁で公民館へ足を運ばせていただきましたがこの仕事だけは私のできない仕事だと思っていましたので…。主に窓口業務で多くの方々とは接する仕事でしたので一日が終わることにしょんぼりしたり、励ましの声掛けを力に頑張ったのも懐かしい思い出です。子育ての頃は乳幼児学級の企画、参加で大変参考になったこと！大運動会、駅伝大会では地域の皆さんのパワーに力をもらい！敬老会では公民館が満杯の中、招待された方の楽しそうな笑顔！文化祭も学校、地域と取組み、盛大に開催されたことなど脳裏をかすめています。

「集まる場」「学ぶ場」として十分なことができなかつたことを深く反省しています。地域の皆様のご協力、お力添えをいただきましたことに深く感謝申し上げます。これからはいろんな事業に参加できるのを楽しみに日々送りたいと思います。

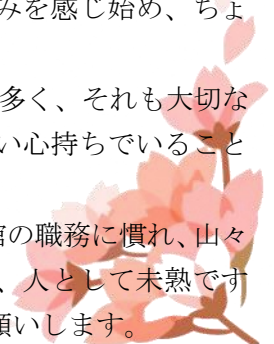
❖〈就任ご挨拶〉 副主事 恩田 浩幸 「公民館職員になって」

いつの間にか、還暦を迎える年齢となり27年間勤めていた会社の定年に達し、継続という選択もあったのですが、仕事で大げがしそうな体力になってきたのを感じ、辞めることにしました。

年金を貰うには少し若いみたいで、収入どうしようと考えていた時に公民館職員募集のチラシが目に入りました。冗談交じりで主事さんと会話したら、あっという間に話が進み、面接となり採用が決まってしまいました。大ベテランの後任という事をすっかり忘れていて、日ごと重みを感じ始め、ちょっと軽い気持ちで応募したことを反省しているところです。

4月1日より上早川地区公民館でお世話になりはじめ、地域の人と接することが多く、それも大切な職務だよと教えられたり、自分が悪い気持ちでいれば周りも悪くなる、だから良い心持ちでいることが大切だよと教えられたり、公民館は外から見ると大変だなと感じています。

いままでは朝早く、夜遅くの帰宅で日中の上早川を知りませんでした。早く公民館の職務に慣れ、山々で囲まれた素晴らしい上早川を散策できるようになりたいと思います。まだまだ、人として未熟ですのでいろんなことを地域の方から教えて頂ければと思います。どうぞよろしくお願い致します。



◇ 令和3年度 支館長・専門部会議 報告 ◇

さる、3月26日（土）公民館にて令和3年度の事業報告と反省及び要望を各支館長、専門部員の皆様におききしました。

[役員の皆様から頂いた反省点と要望]

- 最近はスマートフォン中心だがパソコンの使い方も学びたい。
- スマートフォン学習会に参加したが、時間が限られているので物足りない。サークルを立ち上げて仲間で学習し合うのも良いのではないか。
- グラウンドゴルフ大会では他の支館の方とチームを組み、楽しく交流できた。
- 若い方の意見をもっと聞きたい。
- 運動会の開催について
 - 8月開催はいかがなものか。
 - 高齢化になり、いつもの内容だと体力的に無理になってきている。
 - 8月開催でも良いと思う。大きな事業が無いと地域内の交流・ふれあいの場が無くなるので内容を工夫したうえで実施してほしい。



貴重なご意見をいただきました。公民館としても地域の現状を踏まえたうえで新役員の皆様と取り組んでいきたいと思っております。

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

職員一同



令和3年度もコロナ禍で集まる機会がなく、交流が思うように出来ませんでした。

今回、役員の皆様だけが「輪投げ」で交流し、身体も気持ちもほぐして1年の反省、次年度に向けてのご意見をいただきました。